

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌新琴似校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		年齢に合わせたテーブルや椅子を用意しています。	指定基準上、問題の無いスペースが確保されています。
	②	職員の配置数は適切である	○			指定基準上、問題ない職員数が配置されています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		閉鎖的な空間を好まれるお子さんには、窓のない部屋のご利用が可能です。また、事業所内は段差のない作りになっています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		定期的に清掃行っています。また、パーテーションを外すことでイベント時は広く使うことが可能です。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		新しい個別支援計画を作成する際は、スタッフ全員で意見交換を行っております	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		イベント終了には、アンケートを実施し、事業所内評価も実施しています。	皆様にお答え頂いた内容を集計し、より良い環境づくりに役立てていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			集計結果は、クラゼミHP内に記載、公開致します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第3者評価は、現在行われておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		全体研修や事例検討会を定期的実施し、スキル及び知識の幅を広げています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ご利用開始に際し、必ずご意向やお求めになっていることをお尋ねし、個別支援計画に反映させるようにしています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		お子さん別に SDQ ファイル作成や、NCプログラムの導入を行っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		常に支援計画に沿った療育を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		イベント等も皆で話し合いの上で計画し、協力して行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		療育内容で良いものがあれば、積極的に職員間で紹介しあい、イベントも療育も飽きが来ない様に注意しています	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		支援計画に集団活動を盛り込むことはありませんが、集団活動を見学したり学校連携を行っています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		気になることは朝礼で確認し合い、情報共有しています。足りない時は運営会議を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		すぐにスタッフ全員の共有が出来ない事もありますが、スタッフと児発管との間での共有は必ず行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		担当指導員が、その日の活動を必ず指導報告書にまとめています。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		毎月、定期的にもモニタリング会議を行い、支援計画の見直しを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管と共に、担当指導員も同席出来る様にしている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の意向や、必要性に応じて連絡を取り合い、連携会議にも参加している	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		医療的ケアが必要なお子さんの通所がありません
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		医療的ケアが必要なお子さんの通所がありません
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者のご要望に沿って支援会議を行い、情報を共有をしています。その内容は、療育内容に反映し、同じ方向性を持った支援を心がけています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者のご要望に沿って支援会議を行い、情報を共有をしています。その内容は、療育内容に反映し、同じ方向性を持った支援を心がけています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		関係機関を招いた定期研修が行われています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	利用者さんのご兄弟によるイベントの参加などでは、交流があります。	

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		学びの場として、また地域の事業所や学校等と交流を深められる様に、時間を調整しながら参加しています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		療育中や療育後等、日常の様子をお聞きしたり、療育内容をお伝えしたりしています。連絡帳も取り入れています。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		その場に応じた相談は受け付けていますが、ペアレント・トレーニングを実施出来る職員がおりません。支援技術を学ぶ機会を設ける事が必要と思っています。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約の際に、分かりやすい様に丁寧に伝える様、心がけています。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画の内容をなるべく細かくご説明し、同意を得た上で支援を行っています。変更の際、中々お会い出来ない保護者には、お手紙にて説明を行っています。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		児童の療育時の待合時間を利用して行っている。また、フィードバックの際にも適切に応じて丁寧な対応を心がけている	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご要望がございましたら、定期的な開催を検討していく予定です。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応のご説明を契約時に行っています。相談や申し入れがあった際には、すぐに職員間で周知し、迅速な対応が出来る様に体制整備しています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPなどでお知らせを行い、元気サーチャリタリコなどでも情報発信をしています。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		帰宅の際も鍵の掛かる戸棚や、引き出しの中へ収納しています。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子さんの特性に応じて対応し、保護者には、必要に応じて連絡ノートを使用しています。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域協力をお願いするイベントを開催しています。	
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時、災害内容に応じた避難場所の説明をし、連絡手段として災害伝言ダイヤルのご案内をしている。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度、必ず防災訓練を行い、記録も残しております。	HPなどで、訓練実施のお知らせをする等、情報提供に努めます。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に、てんかん等の聞き取りを行っています。	現在、薬の服用が必要なお子さんの来所はありません。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		イベント時には、必ずアレルギーの確認を行っています。	

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		HPにて全国のヒヤリハット集を作成し、公開している為、閲覧可能となっています	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		全員が参加出来る研修を実施しています。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束の必要性が想定される状況にありません。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌新琴似校

保護者等数（児童数）：8 回収数： 割合：87.5 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1			以前、利用していた事業所に比べると少し狭く感じます。	本校の空間を利用して、お子さまにご満足いただける活動を提供していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			2	駐車場が1台しかないのが不便です。	現状、近隣に空いている駐車場がない状況ですが、空き駐車場があれば借りることも検討しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	2				体を動かすには、決して広くない空間ですが、イベント時にはパーティションを外すなどの工夫を致します。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	1				ご利用開始に際し、必ずご意向やお求めになっていることをお尋ねし、個別支援計画に反映させる様に対応しています。 また、目標の変更時にも内容確認をし、別のご意向があれば変更致しておりますので、どうかご遠慮なくお申しつけ下さい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1				ガイドラインを遵守しています。 発達支援、家族支援、地域支援の項目を支援計画書に設定しています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					今後も支援計画に沿った支援を心がけて参ります。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	1				療育内容で良いものがあれば、積極的に職員間で紹介しあい、イベントも療育も飽きが来ない様に注意していますが、更に良い療育を目指して向上出来る様に努めます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3			4		不要と考えている保護者さまも多く、難しいと感じています。 現在、イベント時にご兄弟が参加される事が、その際に交流を図っている状況です。
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					今後も分かりやすい丁寧な説明が出来る様、努めて参ります。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					今後も皆さまと一緒に、お子様の成長に沿った計画を立てながら、丁寧な説明を心がけて参ります。

説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1	3	その場に応じた相談はお受けしていますが、ペアレント・トレーニングを実施出来る職員がおりません。支援技術を学ぶ機会を設ける事が必要と思っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1		療育中や療育後等、日常の様子をお聞きしたり、療育内容をお伝えしたりしています。連絡帳も取り入れています。より分かりやすい様、配慮致します。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6		1	児童の療育時の待合時間を利用して行い、フィードバックの際にも適切に応じて、丁寧な対応を心がけていますが、お気持ちに寄り添える様、対応して行きたいと思っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	3	ご要望がございましたら、定期的な開催を検討していく予定です。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6		1	苦情対応のご説明を契約時に行い、相談や申し入れがあった際には、すぐに職員間で周知し、迅速な対応出来る様に体制整備していますが、今以上に丁寧な対応を心がけていこうと思っています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7			お子さんの特性に応じて対応し、来所の難しい保護者には、必要に応じて連絡ノートを使用しています
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5		2	HP 上で発信はしていますが、皆さんにもう少し周知して頂ける様、ブログが更新された際にはお声がけするなど、工夫して参ります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7			これからも、取り扱いに十分注意して参ります。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6		1	これからも契約時には、緊急連絡方法や、緊急時の避難先などを皆さまにお伝えして参ります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	3	職員間の訓練は、毎月 1 度行っておりますが、皆さまへお伝えしてありませんでした。次年度は、子ども達も参加型の訓練を実施して行きたいと思っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7			これからも『楽しいな』『お話、聞いて欲しいな』と思って貰えるような事業所作りに努めたいと思っています。宜しく願い致します。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7			向上心を大切に、私たちも日々勉強させて頂いていると思って頑張って行きたいと思っています。お気づきの点がございましたら、ご遠慮なくお申しつけ下さい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。